

8月咲きコギクの電照効果

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成18～19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

花き - キク - 作型・栽培型
分類コード 05-08-18000000

2 担当者

鈴木安和・安齋正典

3 要旨

8月咲きコギクの開花抑制効果の高い電照時間帯は0時以降であり3時間以上あれば、品種によっては22～2時の4時間電照(慣行)と同等以上の効果がある。

- (1) 供試品種は夏秋出しコギクの「赤魚」「小鳩」「むつみ」などを使用した。電照は100V75W電照用電球(みのり)を使用し、電照期間は摘心時～6月18日である。
- (2) 0時以降に3時間以上の電照することにより慣行電照(22～2時)と同等以上の開花抑制効果がある。ただし、開花抑制日数は品種によって差がある。
- (3) 開花は電照によって揃いが良くなるが、同じ3～4時間電照でも深夜0時より前に電照するよりは、後に電照した方が更に揃いが良くなる。
- (4) 切り花長、切り花重、節数、茎径は、0時以降に電照すると、0時以前に電照するのに比べて増加し、慣行電照(22～2時)と同等以上になる。

4 その他の資料等

平成17年度福島県農業試験場いわき支場成績概要